

新型コロナウイルス感染症について

質問 デルタ株蔓延への町の対応方針は

町 ▶ 様々な手法で感染防止の周知、啓発



▲動画配信が見られます



たかはし あきら
高橋 輝

問 蔓延するデルタ株に対しては柔軟な対応が必要となるが、町の方針は。

答〔町長〕
町は県の要請に協力するとともに、主に感染防止の周知、啓発を行う。安全安心メール、行政無線、広報車による注意喚起など、蔓延防止を呼びかけている。



ワクチン接種会場の様子

問 感染予防のために自主的に学校を休んでいる生徒へのサポートは。

答〔学校教育課長〕
1人1台のタブレットを配備しており、出席ができない児童・生徒も授業が受けられる体制を整えている。

問 政府は出勤7割削減を要請しているが、役場での実施状況は。

答〔総務課長〕
窓口業務がある1階職員は難しいが、2～3階は半数が実施。

問 若年層へワクチン接種促進の方策は。

答〔保健福祉課長〕
要望があれば、休日や夜間の接種を町医師会と検討する。

※休日の接種は10月から対応しています

農地活用について

質問 耕作放棄地の活用は

町 ▶ 「人・農地プラン」を基に農地活用を図る

問 耕作放棄地を減少させる方策は。

答〔農林振興課長〕
人・農地プランを基に地域での農地活用を支援することにより、耕作放棄地の抑制、減少に取り組む。

問 里山の自然保護のために休耕田[※]ビオトープ等を整備する考えは。

答〔農林振興課長〕
交付金を活用した活動を推進し、集落に働きかけを行いたい。



兵庫県丹波篠山市の休耕田ビオトープ

問 地域とのつながりや自然観察の場とするために休耕田[※]ビオトープを整備し、学校の生徒が管理する考えは。

答〔教育長〕
実現できれば子供にとっても有効な教育の場になる。学校運営協議会へ働きかけた。

問 耕作放棄地[※]でソーラーシェアリングを促進する考えは。

答〔農林振興課長〕
農業経営の改善、耕作放棄地の解消にも一定の効果があると理解している。優良事例を参考にし、農業者に情報発信をしたい。

※ビオトープ…生物にとって住みやすい環境のこと。

※ソーラーシェアリング…営農を続けながら太陽光発電を行う設備